

江戸川区消防団合同点検

平成二十四年十月二十八日(日)平井六丁目から大きな拍手を頂きました。

荒川河川敷右岸において平成二十四年度江戸川区消防団合同点検が行われました。小岩、葛西、江戸川各消防団から千人の団員が集合しました。通常点検と車両部隊点検が行われ消防救助訓練後は、消防操法都大会の選手による操法が披露され来賓の方



江戸川区総合防災訓練



平成二十四年七月二十六日(木)江戸川河川敷において江戸川区総合防災訓練が行われました。この訓練は江戸川区と四十八の防災関係機関が連携して行うもので午前

九時にマグニチュード七以上の直下型地震が発生したという想定で訓練が開始されました。江戸川消防団では実践的な消防訓練や救助訓練を行い、多くの来賓と町会、自治会の皆様に見ていただきました。多田区長からも有事の際は、各機関が協力して区民の安全を守って欲しいとの挨拶がありました。最後は避難路確保にも使われる消防団と消防署による一斉放水で区内最大の防災訓練を終了いたしました。

新分団長紹介

第一分団長 福富 義宣



喜田前分団長の後を受け十一月より分団長の大任を任せました。第一分団は総勢十三名で構成され、荒川と旧中川に挟まれたJR総武線平井駅以南から都営地下鉄新宿線東大島までの広範囲を受け持ち活動しています。昔は台風などの風水害に見まわれ大変な被害をこうむられ災害には敏感な土地柄、毎年防災訓練が行われており、第一分団も近隣消防団と連携して行っており、京葉道路の道幅も広くなり災害に強い町づくりを目指し新規団員を募集しています。受け持ち面積は三五一、九〇〇㎡で人口約三五、〇〇〇人の安心・安全な町を目指して行きたいと思えます。今後とも皆様の協力をよろしくお願い致します。最後に退団される喜田前分団長の間ご苦勞様でした。そしてありがとうございます。

ございました。今後とも第一分団を宜しくお願い致します。

第二分団長 三浦 典之



消防団に入ってから早くも二十年経ちます。まさか私が二分団の分団長になるとは思っておりませんでした。全力でぶつかる所存です。二分団の受け持ち区域は総武線平井駅の北、平井五丁目、六丁目、七丁目です。二分団は定員二十九名と活動している。団員募集も随時しておりますのでよろしくお願ひします。通常の消防団活動(火災などの災害出場)の他に地域の催し(防災訓練、さくらまつり、ふるさとまつり、青年カーニバル)などにも参加活動をしていきます。今後も各町会、自治会と連携を取り合い、災害のない安心・安全の地域づくりに努めてまいります。地域の皆様のご協力よろしくお願ひします。

広報委員長交代

副団長 渡邊 登

この度、大場前委員長の後任委員長に就任致しました副団長の渡邊登です。前委員長の大場副団長は、平成十六年以来永きにわたり広報委員会の委員長としての重責をまっとうされこの度、江戸川消防団長に就任されました。誠にありがとうございます。これからも、前委員長の築き上げた広報委員会を一層、団向上の一翼として委員共々頑張っておりましてのよろしくお願ひいたします。

分団紹介

第十分団



第十分団 佐藤 誠

第十分団は総勢五十名で構成されており、受け持ち地域は南側に新大橋通り、北側は京葉道路、船堀街道を中心に東小松川、松江地区を担当しています。災害時に備えて訓練の他に水利



確保の為に、境川親水公園の清掃等を実施しています。地域の中には江戸川競艇場があり、操法大会の訓練場として協力していただき、使用させていただきます。地域住民との交流も深め団員の生命財産を守っていき所存です。

編集後記

この度、皆様にお読みいただいた「広報江戸川消防団」は節目の第十号を発行することができました。平成二十年から春と秋の年二回の発行を続け、今回は本来十月の発行予定でしたが東京都消防操法大会に出場するにあたり十一月発行と致しました。これから皆様が見る広報紙も親しめる広報紙を作っていきます。また、広報委員会ではホームページの更新を随時行っており、写真も多く取り入れ活動内容をわかりやすくしております。こちらも是非ご覧ください。